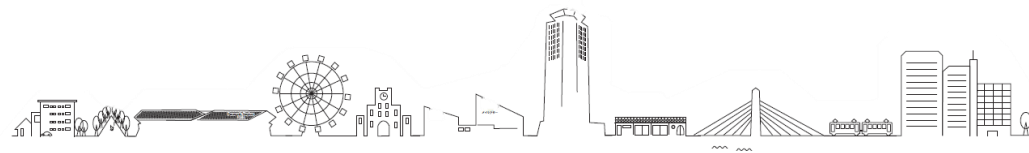


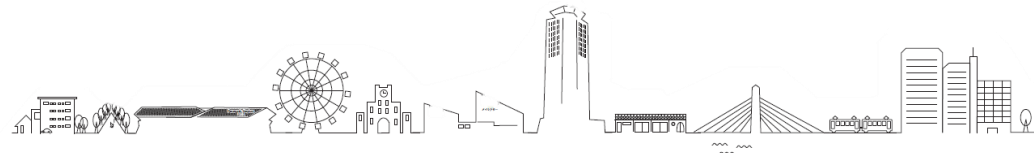
2025大阪・関西万博を契機とした シティプロモーション事業について

都市魅力部 シティプロモーション推進室



背景

- 本市のシティプロモーションにおいては、それぞれが持つ志向に応じた豊かな暮らしを実現し、市民にとって愛着や誇りが持てるまちを目指すことを目的に様々な手法を用い、行政主体の魅力発信を行ってきた。
- シティプロモーションビジョンの取組方針のひとつとして、市民から魅力が広がる仕掛けづくりを行う事としている。
- 市民が主体となった魅力発信は、行政主体のものより共感を得やすいが、その仕掛けづくりは市公式Instagramで行っている「#誇れよ吹田」にとどまる。
- 万博の開催という国内外の注目が大阪に集まる機会は、かつての万博開催地吹田にとって当時から続く強みや魅力を再発見する好機。



事業概要

- 目的

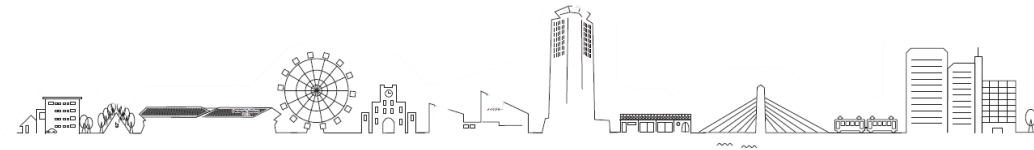
大阪・関西万博という国内外から大阪に注目が集まる機会を改めて本市の強みや魅力を市民が再発見する好機と捉え、「暮らすにはぴったりなまち＝Suitable City」の更なる実現による市民の市への愛着や誇りを醸成すること。

- 主な業務内容

- 市民が市の魅力を発掘・発信するためのワークショップ等の実施
- 「人類の進歩と調和」をテーマとしたシンポジウムの開催
- 万博開催期間におけるイベントの実施

- 受託事業者

博報堂・オズマピーアール共同企業体（プロポーザルで選定）



事業の軸となる考え方（提案内容）

suitable city

1970万博をきっかけに

いままで

整備された都市空間（ハードレガシー）
により、市民の満足度も高水準

①暮らすにはぴったりのまち

受動的。市が与え、市民が享受。



2025万博をきっかけに

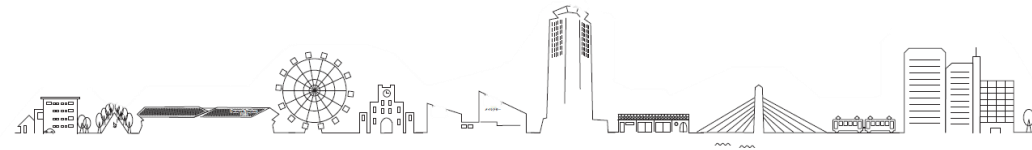
これから

ソフトレガシーも高めていくことで更なる
愛着醸成をはかる

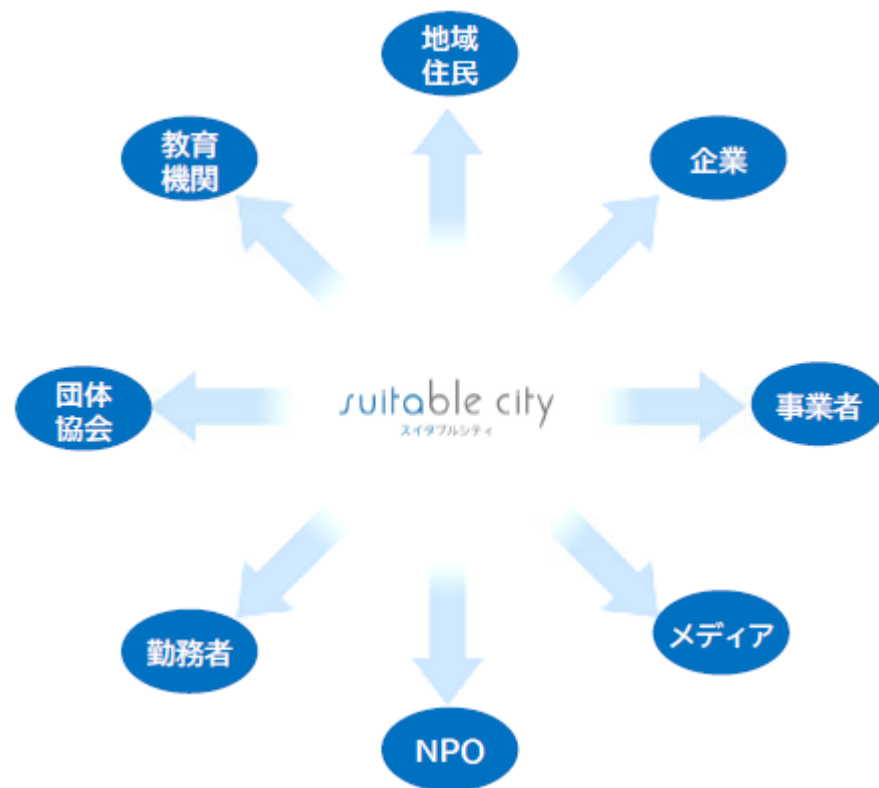
②吹田で実現できる

能動的。市民側がやること、生み出すこと。

「マイナスのないまち」から「**プラスが生まれる**」まちへ



行政主導の発信型シティプロモーションから

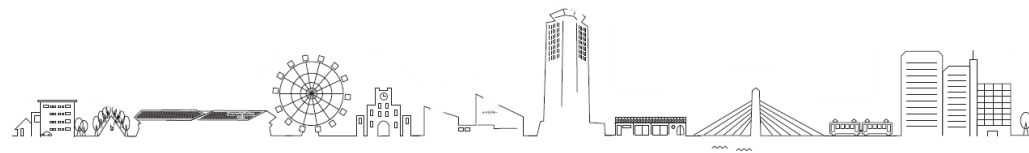


市民主体の自発型シティプロモーションへ



市民が主体となり「こんなまちにしたい/これやりたい」といった声を具現化できる仕組み・活動へ。

Suitable Cityの自分事化を促進させる。



「Suitable City」のアップデート

コンセプト実現に向けた取組方針

方針

1

強みを伸ばす取組の実施

本市には既に強みといえる様々な魅力が存在します。これらの強みをさらに伸ばす取組を実施することで、より高質な暮らしの実現を目指します。

方針

2

多様な連携による新たな魅力の創造

様々な主体による多様な連携を促進し、それぞれが持つ魅力を組み合わせることで、新たな魅力の創造が可能です。新たな魅力の創造により、市への愛着を持つ市民の増加につなげていきます。

方針

3

市民から魅力が広がる仕掛けづくり

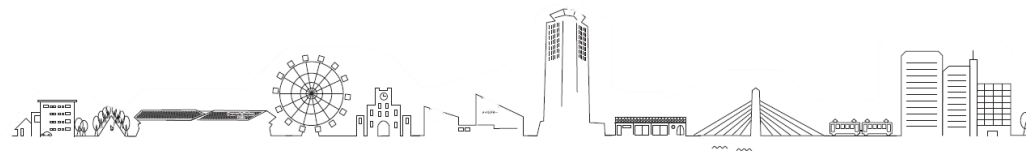
これまで知らなかった本市の魅力に触れたり、当たり前と思いがちな部分が実は当たり前ではないといった、市民にとっての「気づき」の機会を増やす取組を実施し、市民から本市の魅力が市内外に広がる仕掛けづくりを図ります。

シティプロモーションビジョンの取組方針を踏まえ、

既に市内に存在する様々な強み／魅力をつなげ、掛け合わせ、“新しい”を生んでいく（方針2）。

吹田らしい「つなげるアプローチ」発想に、市民がより能動的に関与できる（方針3）よう、

ロゴ化／フレーム化し、さまざまな場で活用できるアイコンを展開する。



課題

既に吹田に存在する「魅力のかけあわせ」で「新しいを生む」という「つなげるアプローチ」を可視化するためのアイコン（ロゴ）を策定する。

【ポイント】

- ・Suitable Cityを体現するもの
- ・市民をはじめとする様々なステークホルダーが巻き込めるようなもの
- ・吹田らしさ（他にはない・つなげるアプローチ）が込められているもの
- ・共感をもたらす体験を生み出すことができるもの



市民がロゴを自発的に活用することで、魅力の可視化が促進されるため、多くの市民が活用することが必要。

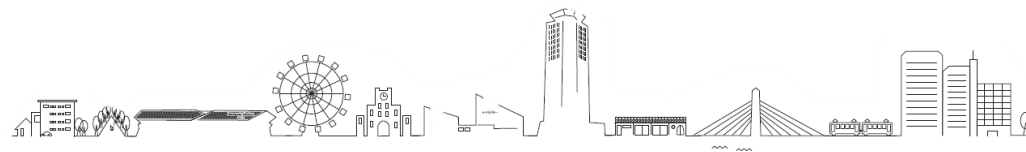
※策定されたロゴは、本委託事業における取組で使用するほか、事業期間中から、市民に利用してもらえるよう使いやすく守りやすいルールを作り配付することを予定。

吹田

クロスロゴ



様々なモノが繋がり、掛け合わされ、融合し、新しいアイデアを生み出していくシンボルに



本事業における、市民へ広げるための取組

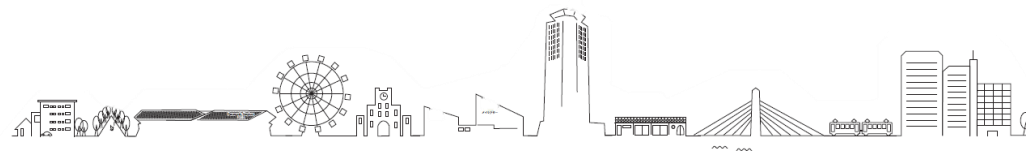
9月 すいたフェスタ2024「メッセージボードブース」
クロスロゴにちなんだ付箋に来場者が思う魅力の掛け合わせを記載し、メッセージボードを作成する。

市民が主体となったSuitable Cityに向けての機運醸成



10月 クロスロゴ策定に関するプレスリリース
すいたフェスタ2024「メッセージボードブース」の開催結果等も含めクロスロゴデザインの策定についてリリース。利用ガイドなども公開。

11月 ワークショップ・イベント等の実施
実際の魅力の掛け合わせを感じていただくためのワークショップの実施
ワークショップ実施回数:のべ10回
イベント実施:令和7年(2025年)9月 予定



御意見いただきたい内容

クロスロゴについて

➤市民がクロスロゴに興味を持ち自発的に使用するためには、どのような仕掛けが必要か。

- ・どのような場面や機会にクロスロゴを目にすると、興味を持ちやすいか？
- ・市民が自発的に使用し、自らの手でロゴを育てたいと思ってもらうためにはどうしたらよいか？ など

➤クロスロゴをきっかけに“suitable city”を意識してもらうためには、どうしたらよいか。

